



滋賀県議会議員

た な か ま つ た ろ う

# 田中松太郎

年度の途中でありますが、十月から関西広域連合議会議員を拝命しました。これは我が会派の角田議員が辞職し、米原市長に当選された関係で、その後任として議長からの指名推薦により拝命したものです。関西の発展のために、広域連合議会でも頑張ります。



プロフィール ■1972年 滋賀県甲賀市生まれ ■甲賀市甲賀町在住 ■家族構成:母・妻・長男・次男 ■厚生・産業・企業常任委員会、議会運営委員会 副委員長、行財政・DX推進特別委員会

田中松太郎 事務所 甲賀市水口町北脇436-1 TEL.0748-63-5340/FAX.0748-63-5341

田中松太郎 検索

## 9月定例会議 一般質問

### しがめぐりあいサポートセンター「しが結」について

令和4年10月1日にオープンしたオンライン型結婚支援センターのしがめぐりあいサポートセンター「しが結」は、丸2年を迎えようとしています。これは、しが出会いサポート地域連携推進事業として実施しているもので、結婚を希望している方の出会いの機会を創出するために、Aを活用したマッチングシステムを構築、結婚サポート体制を整備し、自治体初のオンライン型結婚支援センターとしてオープンしたものです。



質問動画

### 会員の登録状況について

**子ども若者部長** 9月25日時点で、1,518名の登録があり、9割以上が県内在住です。性別の内訳は、男性が約6割、女性が約4割、年齢別内訳は、30歳〜34歳までが28%と最も多く、次いで、35歳〜39歳までが26%、40歳〜44歳までが16%です。

### 2年間の実績について

**子ども若者部長** 9月25日時点で、32組が「成婚退会」(結婚のため退会)しています。このうち16組は、今年度の4月以降に成婚退会されており、今年度の成婚退会のペースが少し上がっているように見えます。

### 子ども若者部長 「登録者の身元確認がしっかりしているため安心して活動できた」定期的に開催されるAによるマッチングがすごく良かった」交際中にオンラインや対面

### 会員の反響について

**子ども若者部長** 「登録者の身元確認がしっかりしているため安心して活動できた」定期的に開催されるAによるマッチングがすごく良かった」交際中にオンラインや対面

談会で相談員に真摯に相談に乗っていただけのありがたかったなど、自治体が運営する安心感や、Aによるマッチング、相談対応等について評価をいただいています。一方で、希望する条件に合う相手の数が少ない、相談員のサポートに対する不満などの意見も寄せられています。

### 成婚に至った方の特徴は

**子ども若者部長** 成婚退会された32組は、30代が中心ですが、20代後半から40代後半まで年齢は幅広く、また、成婚退会に至るまでの期間の期間は63日間から481日間、各会員の入会から成婚退会までの活動期間も、最短は3か月程度、最長は20か月と様々で、特に特徴は無いと思われれます。

### 2年間の評価について

**子ども若者部長** 延べ2,149組のお見合いの機会を創り、32組の成婚退会に繋がったことは、結婚を希望される方のめぐりあいを応援するということにおいて、一定評価できると考えます。また、成婚退会された方からの評価も高く、安心して利用できるサービスを提供できていると捉えています。ただ、活動に積極的でない会員をどうサポートしていくのか、また積極的に活動しているもののお見合いにまで至らない方へのサポートの追加の可否、といったことは、今後の課題であり可能性であると捉えています。

### 今一度、新規入会者を増やすための全庁的にPRしていく必要があるのではないか。さらなる会員の確保について

**知事** 会員登録時のアンケートによって、「しが結」を知ったきっかけとして、家族・知人からの紹介が最も多く、次に県のHP、インスタグラムとなっているため、県公式HPや県公式SNSなどの広報媒体の活用や、各



種イベント等での機会を捉えた広報など、全庁をあげて幅広くPRを行ってきたいです。あわせて、市町と連携した婚活イベントや出張登録会の開催のほか、ターゲットを絞ったSNS広告、企業や大学等と連携した若者に届く新たなイベントの企画や周知広報を行って「しが結」の会員数を増やし、結婚を希望する方の希望を叶えられるよう取り組み、今後も若者の可能性を広げる施策を推進していきます。

### データ連携基盤について

今年5月に、デジタル庁から都道府県に対しデータ連携基盤に関する方針が出されました。これには、分野別にデータ連携基盤は原則、各都道府県で1つに限るとのこと、分野間のデータ連携基盤は、各都道府県で1つに限るとのこと、またこれらは原則、サービス、システムのカタログが推奨するデータ連携基盤技術から採用するということが示されています。

同時に、都道府県への依頼事項として、都道府県は、市町村が保有するデータ連携基盤の整備状況や機能、用途等について現状把握を行ない国と共有すること、既に基盤を保有している市町村など関係市町村と協議の上、令和6年度中にデータ連携基盤の有効活用、共同利用に関するビジョンを策定し公表することとされています。

### そこで、本県でのデータ連携基盤の取り組み等について、質問を行いました

**Q** デジタル庁のデータ連携基盤に関する方針を受けて県として取り組む内容について。

**A** 総合企画部長 データ連携基盤の乱立の抑制や共同利用を促す「ハブ」としての役割を果たす必要があると考え、県内市町との連絡体制を構築するとともに、各市町の意見を聞きながら、今後のデータ連携基盤の有効活用や共同利用について、中長期的なビジョンの策定に向け、検討を進めていく必要があると考えます。

**Q** データ連携基盤は様々な自治体で構築されているが、他の自治体のデータ連携基盤の整備状況について。

**A** データ連携基盤は様々な自治体で構築されているが、他の自治体のデータ連携基盤の整備状況について。

**総合企画部長** 今年度開催された都道府県CIOフォーラムの資料によると、全国で22の都道府県で、何らかのデータ連携基盤を整備済み、または整備中となっています。

**Q** 昨年12月に立ち上げられた関西広域連合データ活用官民研究会や、今年6月に大阪府が立ち上げた「自治体データ連携基盤共用化研究会」に滋賀県も参加しているが、関西広域連合データ活用官民研究会、自治体データ連携基盤共用化研究会の状況について。

**総合企画部長** 関西広域連合の「関西広域データ活用官民研究会」は、令和5年度、昨年度に2回、今年度1回開催され、データ活用利用のモデルケースについての研究を進めています。また、大阪府の「自治体データ連携基盤共用化研究会」は、今年度2回開催され、共用化の具体化に向けた研究を行っているところです。県はいずれの研究会にも構成員として参加し、情報収集や意見交換を行っています。

**Q** 滋賀県知事として、県のデータ連携基盤共同利用ビジョンについてどのように取り組んでいくのか。

**知事** 県内の市町にはデータ連携基盤がまだ構築されていない状況が踏まえ、引き続き両研究会に参加して積極的に情報収集や研究に努めることにも、国の動向等を見極めながら、県内市町と協議や調整を進め、県としてのビジョンを示していきます。

**Q** 滋賀県におけるデータ連携基盤の共同利用とそのビジョン策定についても有識者らと交えた研究会、検討会を設置したうえで、ビジョン策定や、ビジョンに基づくデータ連携基盤の共同利用を示していくべきでは。

**知事** DX推進戦略の改訂に向けて、有識者からなる「滋賀県デジタル社会推進懇話会」や産学官で構成される「滋賀県地域情報化推進会議」の中で、データ連携共同利用ビジョンや具体的な方策についても意見を伺おうと考えているところです。

関西広域連合で連合長としてORRDE Nの活用、拡大の可能性について検討中です。すでに先行して他のシステムを導入している自治体との兼ね合いをどう調整するのか、リジョナルネットワークを作っても国で連携をかけたときのインターフェイスができるのかで

きないのか、というふうなことがあるので、まず国で率先してシステムを作ってもらい、統一してほしいということをお願いしつつ、リジョナルな地域ごとの動きを広げながら実用化を確保すると同時に、国に対して示していくということもできるのではないかと考えます。



千葉県千葉市の旭建設株式会社を訪問。「健康経営優良法人」や「ベストプラクティス企業」に選出されるなどの成果をだされている企業風土づくり、職場環境づくりについて調査を行いました。



千葉県千葉市の旭建設株式会社を訪問。「健康経営優良法人」や「ベストプラクティス企業」に選出されるなどの成果をだされている企業風土づくり、職場環境づくりについて調査を行いました。



千葉県成田市の成田国際空港株式会社を訪問し、「DX基本方針AIR NARITA」に基づく取り組みについて調査を行いました。

田中松太郎の日々の活動はSNS等で配信しています！  
公式ホームページ  
Facebook  
Instagram  
検索 田中松太郎  
http://matsutaro.jp/